

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

下関市長 前田 晋太郎

市町村名 (市町村コード)	下関市 (35201)
地域名 (地域内農業集落名)	六連島地区 (六連島集落)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年2月19日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<p>六連島地区は、下関市の西4kmの響灘に位置し、農業を基幹産業とする島である。 比較的本土と近距離であり、肥沃な土壌、冬季も温暖な気候であるといった土地条件を活かし、地域内の担い手は、ガーベラ、キク、金魚草、その他草花類を中心に、多品目による花きの周年生産に取り組んでいる。 現在、栽培経験の長い生産者からの技術継承が少しずつ進み、若い担い手が育っているが、島内の花き生産者の高齢化が進んでおり、新たな新規就農者を確保・育成していく必要がある。 今後、離農や高齢化が進み、遊休農地の発生が懸念されることから、持続的に農地の利用を図りながら地域の活性化を進めるためには、地域の担い手を確保・育成しつつ、地域住民などを交え地域全体で農地を利用していく仕組みの構築が喫緊の課題である。</p> <p>【地域の基礎的データ】 農業者:17人(うち69歳以下3人) 主な作物:花き</p>

(2) 地域における農業の将来の在り方

<p>六連島地区は、個人の認定農業者である12経営体を中心に集約化を進めつつ、フラワー体験などによる地域外から交流人口の増加や認定新規就農者を受入れ、さらに農業を担う者を募り、地域全体で農地を利用する仕組みの整備を進める。 農作業の効率化を図るため、環境制御装置などのスマート農機の導入を進める。 むつれ丸(花き運搬船)による共同出荷の仕組みづくりのあり方を再検討する。</p>

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	19.6 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	19.6 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農業振興地域内の農用地区域を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
六連島地区の遊休農地の発生を防止するため、離農や経営規模を縮小する出し手がいる場合は、認定農業者を中心に農地の集約化を図っていく。
(2)農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理機構を活用して、認定農業者や新規就農者を中心に団地面積の拡大を進めるとともに、担い手への農地集積を進める。
(3)基盤整備事業への取組方針
農業の生産効率の向上を図るため、補助事業を活用し、老朽化しているパイプラインの整備を行う。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市、県及びJAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
該当なし

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①ねずみによる被害が見られるため、地域による捕獲体制の構築等に取り組む。
- ③農作業の効率化を図り、省力化や作業負担の軽減を図るため、スマート農機の活用を進める。
- ⑧担い手の営農や農業を担う者の利用状況などを考慮し、高齢組合員の共同出荷を行う。
- ⑩やまぐちブランドであるトルコキキョウやオリジナルユリの生産拡大に取り組み、花の振興を図る。